

プログラム名	漂流物アート		時 間	2～3時間
ねらい	1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 海浜清掃やゴミの仕分けを通して、環境への関心を高めるとともに、奉仕の心を育てる。			
活 動 内 容	1 活動形態 → 個人またはグループ 2 内 容 → 海浜清掃で回収したゴミを使って、作品を制作する。			
対象	制限なし	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	<p>1 集 合</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された場所と時間に集合（入所時に確認） 参加人員と健康状態の把握 <p>2 事前指導 1 ～海浜清掃について～（「玄海の家」職員、約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動道具の準備、配布 説明および諸注意（実施方法、安全、マナーなど） <p>3 活動 1 ～海浜清掃～（活動時間は30分～1時間程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 海浜のゴミを回収する。 ゴミは、燃やせるゴミと燃やせないゴミに仕分けして回収する。 <p>4 事前指導 2 ～作品作りについて～（「玄海の家」職員、約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動道具の準備、配布 説明および諸注意（実施方法、安全、マナーなど） <p>5 活動 2 ～作品作り～</p> <ul style="list-style-type: none"> 回収したゴミの中から、作品作りに使えそうなものを選ぶ。 木工用ボンド、ホットボンドで、ゴミをはりあわせ作品を作る。 必要に応じて色付けをする。 できあがった作品と一緒に記念撮影をする。 作品を分解し、燃やせるゴミと燃やせないゴミに仕分けする。（持ち帰る場合は不要） <p>6 後片付け（各団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> 道具の片付け、ゴミの処理 人数確認および借用物の確認と事務室への返却 評価と反省 			
実 施 上 の 留 意 点	1 活動場所として研修室も使用するの、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 制作の進度に差があるため、時間設定に余裕をもたせる。 3 作り方、用具の使用法、片付けなど事前指導として「玄海の家」の職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実に行う。 5 作品は壊れやすい上に砂汚れがひどいことが多いので、 作品の持ち帰りはおすすめしません。 6 海浜清掃に行く場合は、必ず海浜出入口を使用する。 7 細かい作業は、必要に応じて指導者が行う。			
「玄海の家」で 準備できる 物	回収したゴミを入れる袋、グルーガン、新聞紙(ボンドなどで机が汚れないようにするため)			
利用団体で 準備するも の	ゴミ（海浜清掃で回収した物）、軍手、サンダル（クロックス可）、木工用ボンド、ホットボンド、ポスターカラー・油性マジック（色付けする場合）、カメラ（撮影する場合）			